

U.S. Indicators

発表日:2023年8月4日(金)

米国非製造業部門は緩やかに減速中(7月ISM非製造)

～活動指数、新規受注指数は前月から低下したが比較的高い水準を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年7月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、52.7(前月53.9)と前月比1.2%ポイント低下し、非製造業部門の拡大ペース鈍化を示した。入荷遅延が上昇した一方、事業活動の拡大ペース鈍化を背景に、現在の活動状況を示す活動指数が小幅低下したほか、新規受注が低下した。さらに、需要の鈍化傾向やミスマッチ等によって、雇用は大幅に低下した。ただし、拡大した業種数は、全18業種中14種と6月の15業種から減少したが、多くの業種が拡大を続けている。また、回答者の大多数は景気や経済全体について慎重ながらも楽観的な見方を示しており、適度な減速を示唆している。

米非製造業部門は、米中堅銀行の破綻、米国債のデフォルト懸念の高まり等の影響もあり、3、4、5月に大幅に減速したものの、6月に金融不安の大幅な後退やデフォルト懸念の払しょく等を背景に持ち直した。7月は、6月に大幅に上昇した翌月ということもあり、下振れた。基調としては、FRBの大幅な利上げや高インフレ等の影響を受け、非製造業部門の拡大ペースは緩やかな減速傾向を辿っていると判断される。

7月に拡大した業種数は、18業種中14業種と6月の15業種から減少した。拡大した業種は、強い順にその他サービス、建設業、宿泊・飲食サービス、公的部門、企業向けサービス、運輸・倉庫、公益、不動産業、専門・科学・技術サービス、医療・社会支援、教育サービス、小売業、情報産業、卸売業と多くの業種で拡大が続いた(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。一方、縮小した業種は、鉱業、農林水産業、芸術・娯楽・レクリエーション、金融・保険の4業種(6月3業種)にとどまった。

非製造業総合指数の構成項目では、入荷遅延が48.1(前月47.6、前月比+0.5%ポイント)と上昇した一方、活動指数が57.1(前月59.2、前月比▲2.1%ポイント)、新規受注が55.0(前月55.5、前月比▲0.5%ポイント)、雇用が50.7(前月53.1、前月比▲2.4%ポイント)と低下した。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比+0.13%ポイントの押し上げ寄与となった一方、雇用が前月比▲0.60%ポイント、活動指数が前月比▲0.53%ポイント、新規受注が前月比▲0.13%ポイントの押し下げ寄与となった。

大幅に低下した雇用について、回答者は「鈍化した需要に供給能力を合わせている」と需要の鈍化による雇用調整を指摘した一方、「需要があるものの、十分な速さで採用できない」とミスマッチの影響のほか、「従業員を採用しているが、より高い報酬を提供する他の企業に従業員を奪われている」とより高い報酬を求める動きが依然強いことも影響したと報告された。7月に雇用の増加を報告した業種別は、芸術・娯楽・レクリエーション、建設業、その他サービス、宿泊・飲食サービス、行政、公益、小売業、医療・社会支援、専門・科学・技術サービス、卸売業の10業種となり、雇用統計でも雇用増が予想される業種で増加した。一方、雇用の減少を報告したのは、金融・保険、教育サービス、

鉱業、企業向けサービス、情報の5業種にとどまった。

サブ項目では、新規輸出受注が61.1（前月61.5、前月比▲0.4%ポイント）と小幅低下にとどまり高い水準を維持、サービス輸出の高い伸びを示した一方、輸入は52.3（前月54.6、前月比▲2.3%ポイント）と低下し、サービス輸入の鈍化を示した。

インフレ環境では、仕入価格指数が56.8（前月54.1）と上昇に転じ、インフレ圧力が再び強まったことを示した。労働コスト（建設、熟練等を含む全般）、電気部品等の継続的な上昇のほか、ガソリン、燃料、牛肉等の上昇によって押し上げられ、価格指数は上昇した。また、供給不足の分野として、変圧器、建設業や熟練などを含む労働、車両が挙げられた。

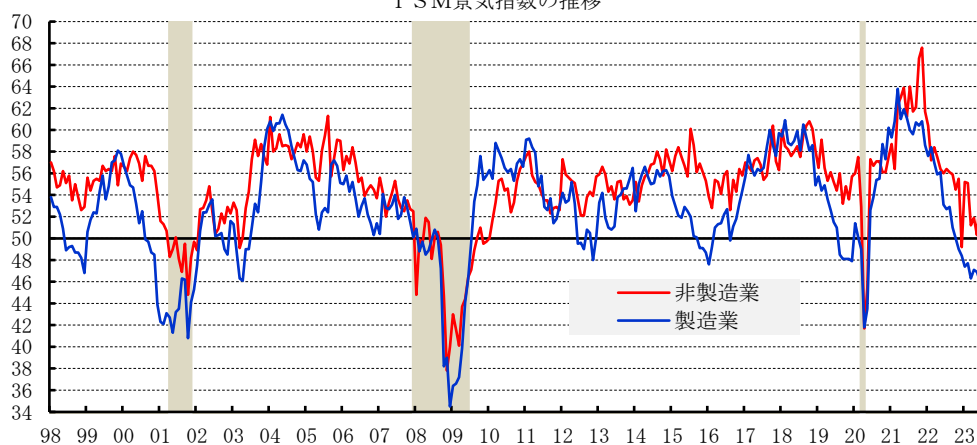
米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、7月に52.1（6月53.1）と低下し、景気拡大ペースの鈍化を示しているが、堅調さを示す水準を維持した。四半期では、7月の製造業が46.4と4-6月期の46.7（1-3月期47.1）から悪化した一方、非製造業が52.7と4-6月期の52.0（1-3月期53.8）から上昇したことで、ISM総合景気指数は52.1と4-6月期の51.5（1-3月期53.2）から上昇し、7-9月期の米国需要が底堅さを維持していることを示している。

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
22/07	56.4	59.0	59.1	49.5	57.8	58.3	73.2	59.5	45.0
22/08	56.1	59.3	60.4	50.2	54.5	53.9	72.3	61.9	46.2
22/09	55.9	58.3	59.2	52.3	53.9	52.5	69.8	65.1	44.1
22/10	54.5	55.6	56.8	49.2	56.2	52.2	70.9	47.7	47.2
22/11	55.5	61.6	55.8	50.6	53.8	51.8	70.1	38.4	47.9
22/12	49.2	53.5	45.2	49.4	48.5	51.5	68.1	47.7	45.1
23/01	55.2	60.4	60.4	50.0	50.0	52.9	67.8	59.0	49.2
23/02	55.1	56.3	62.6	54.0	47.6	52.8	65.6	61.7	50.6
23/03	51.2	55.4	52.2	51.3	45.8	48.5	59.5	43.7	52.8
23/04	51.9	52.0	56.1	50.8	48.6	49.7	59.6	60.9	47.2
23/05	50.3	51.5	52.9	49.2	47.7	40.9	56.2	59.0	58.3
23/06	53.9	59.2	55.5	53.1	47.6	43.9	54.1	61.5	55.9
23/07	52.7	57.1	55.0	50.7	48.1	52.1	56.8	61.1	50.4

(出所) ISM

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。